

微細な病変の発見や組織採取も可能
苦痛が少なく安心して受けられる

経鼻内視鏡検査

消化器病変の診断と治療に欠かせない内視鏡検査ですが、抵抗がある人も少なくないと聞きます。内視鏡を口からではなく鼻から入れることで、比較的楽に受けられるという経鼻内視鏡検査の様子をレポートします。

胃の調子がよくないことがあります
検査の必要性を感じています
専門家のお話が聞きたいです

私がレポートします



渡邊 陽子さん
30代/会社員/渋谷区勤務

しばしば胃が痛くなり胸焼けすることがあるので、一度しっかり医療機関で調べてもらった方がいいと考えていました。けれど検査には少し怖いイメージがあつて……。受けるのならばなるべく苦痛の少ない方法でお願いしたいと思っています。今回は最近よく耳にする経鼻内視鏡検査について詳しく学ばせていただきます。

今回行ったのは
天下堂医院



芦花公園駅から徒歩3分。内科、外科のほか、泌尿器科、耳鼻咽喉科など幅広く診療し、トータルな医療を提供。健康診断や健康相談、心電図検査、理学療法なども受けられる。超音波検査や胃内視鏡検査、小手術などは予約が必要。

Add: 世田谷区南烏山1-11-15
Tel: 03-3302-1751

Link P260

Question & Answer

素朴な疑問 Q&A

Q どのような検査ですか？

A 鼻から内視鏡を挿入する、体に優しい検査です。当院では従来の約半分の細さの直径5・9mmの極細スコープを用いています。小回りが利き狭い空間でもスムーズに反転して内部を観察することができるので、病変が発見しやすいのです。「鼻の穴が狭いと挿入できないのでは？」と心配される方もいますが、私が今まで手がけてきた症例の中でもそういったケースはごくまれで、多くの人に受けていただけの検査です。さまざまなメリットが評価されて急速に普及しています。

Q 経口内視鏡検査と比べて
どんなメリットが
あるのでしょうか？

A 一番のメリットは、内視鏡を鼻から挿入するため、経口の場合に多少なりとも起こる嘔吐反射の心配がないことです。吐き気を催すことなく楽な状態で検査が受けられますよ。また、医師

私が
お答えします



天下堂医院
雨宮 明文院長

1984年北里大学医学部卒業。2003年、父の跡を継ぎ院長に就任。経鼻内視鏡検査のバイオニア的存在で、著書に「消化器医のための経鼻内視鏡検査入門」がある。日本消化器内視鏡学会専門医、日本外科学会専門医、日本消化器病学会専門医、日本消化器外科学会認定医、日本乳癌学会認定医、日本医師会認定健康スポーツ医など。

Q 検査を受けられない人は
いるのでしょうか？

A まれに鼻出血が起こる可能性があるため、肝硬変や血液疾患などの血の止まりにくい疾患をお持ちの方や、抗血小板薬や抗凝固薬といった血をサラサラにするお薬を内服中の方は注意が必要です。ただし、お薬を一定期間休んでもよいと主治医の許可が得られた方は、休薬の上で組織検査をお受けいただくことが可能です。必ず主治医にご相談ください。また、まれにいらっしやる鼻腔の狭い方や局所麻酔剤にアレルギーのある方は、経口による検査をお勧めしています。

実際の流れを紹介

STEP 3 雨宮先生オリジナルの注入器で 鼻腔に麻酔を施す



雨宮先生が独自に開発したカテーテル付注入器でスムーズに麻酔薬を投与。これにより内視鏡が通る際の鼻腔の痛みが抑えられる。また、局所麻酔のため眠くなることはないという。

STEP 1 事前にドクターによる問診 検査前後・当日の流れの説明



問診では既往歴や飲んでいる薬などを確認。また、検査前日の食事は夜9時までに済ませること。水分は夜12時頃まで摂取してOKだが乳製品は避けることなど、検査前後の注意点や当日の流れについても詳しく説明してもらえる。

STEP 2 血管収縮剤の投与



鼻腔に血管収縮剤がスプレーされる。この処置により鼻の奥を広げ、内視鏡挿入の際の鼻出血を抑えることができる。出血の予防のほか、挿入に備えて鼻の通りをよくするという大切な役割も。

STEP 4 いよいよ内視鏡の挿入！ 組織を採取することも



実際の挿入時間は5～10分程度。鼻から喉、食道、胃、十二指腸と管を通して内部を見ていく。ベテランドクターによる挿入は不快感も少なく安心。何か病気が疑われたときはその部分の組織を採取し、検査後に顕微鏡で観察する。

STEP 5 結果と今後の治療についての説明



画像を見ながら結果の詳しい説明を受ける。説明が終わった後、すぐに帰宅できるのもうれしい。組織検査を行った場合は約2週間後に結果が出る。万が一、手術を要する場合は、患者の希望を踏まえて紹介状を書いてもらえるそう。

レポートを終えて……

ドクターからのメッセージ

経

口の内視鏡検査で苦しい思いを受けた経験のある方がこの検査を受けると、こんなに楽なものかと感動されることが多いです。そのため一度経鼻内視鏡検査を受けると次回も経鼻を希望される方が95%以上ともいわれているんですよ。胃の検査は1～2年ごとに繰り返し受けることが重要で、定期的に受診していれば万が一病気が見つかった場合でも早期に治療ができます。胃腸の調子が思わしくない方はそのままにせず、一度ご相談いただければと思います。



読者レポーターのコメント

検

検査の流れを見させていただき、内視鏡の管がとてつもない細さに驚きました。経口と違って吐き気を催す心配がないことはもちろん、検査中も何かあれば先生とお話しできるので安心ですね。今までは大がかりな検査という先入観がありました。検査後すぐに日常生活に戻れるようなので、忙しい人でも手軽に受けられる検査ではないでしょうか。近いうちに私もお願いしたいです。また、実際に検査を受けるならば経験豊富なドクターのもとで受けるのが安心だと思います。

